

2021年度 第1回 CPC研究会 オンデマンド配信

日 時 : 5月17日(月) ~ 21日(金)

視聴方法 : 申し込みをされた方に、配信 URL をご連絡いたします。

なお、配信 URL の再配布、動画のダウンロードや録画は禁止です。

料 金 : 維持会員・大学官公庁関係=無料 / 非会員=30,000 円

申込締切 : 5月12日(水)

<http://cpc-society.org/>

「多孔質カーボンモリスの細孔構造制御とヘテロ原子の導入」

名古屋大学 未来材料・システム研究所 長谷川 丈二 氏

- 1) 多孔質カーボンモリスの作製法
- 2) 相分離を用いた三次元貫通孔の構築
- 3) 相分離法による多孔質カーボンモリスの作製
- 4) 多孔質カーボン材料へのヘテロ原子の導入

多孔質カーボンモリスは、塊状のバルク体であるため、一般的な粉末状の炭素材料と異なり、そのまま使用可能であるという利点があります。一方、モリス内部の炭素表面を有効利用するためには、異なるサイズ領域における細孔を構築する必要があります。本講演では、主に相分離法を用いて作製した多孔質カーボンモリスの細孔構造制御について概説します。また、封管中における気相反応を利用した、後処理による多孔質カーボン材料へのヘテロ原子の導入手法について紹介します。

「カーボンニュートラルの実現に向けた炭素資源の利用技術動向」

産業技術総合研究所 松岡 浩一 氏

- 1) 国内外の CO₂ 排出の現状
- 2) CO₂ 低減・利用技術の動向と課題
- 3) メタンに関連する CCU 技術等

2050 年のカーボンニュートラルの実現には、再生可能エネルギーの主力化による CO₂ 排出抑制が重要となりますが、加えて、化石資源利用により排出された CO₂ の固定化、CO₂ の回収・利用技術も重要となります。講演では、国内外の CO₂ 排出の現状と低減に向けた最近の技術開発などの動向を解説するとともに、産総研で取り組んでいるメタネーションなどの CCU 技術、メタン分解による水素/固体炭素併産技術等を紹介いたします。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8936
2021年第1回研究会のオンデマンド視聴を希望します。

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: